

# 生活と環境展示会 @ イベントホール

10月18日(水)・10月19日(木)

※18日 12:00～16:00、19日 9:30～15:30

廃棄物・資源循環、生活衛生、環境保全関係の企業、関係団体等の幅広い層の方々の環境活動の発信・紹介の場として、また情報交換、ネットワーク形成の場として展示会を開催します。

展示会会場には休憩スペースを設けております。またアンケートにお答えいただいた方に先着で粗品をプレゼント！(粗品はアンケート回収場所にて配布いたします。)

## 【出展企業・団体】(五十音順)

公益財団法人イオン環境財団/荏原環境プラント株式会社/川崎重工業株式会社/株式会社環境新聞社/北九州市/JFE エンジニアリング株式会社/水ing エンジニアリング株式会社/一般社団法人全国給水衛生検査協会/株式会社タクマ/日鉄エンジニアリング株式会社/一般財団法人日本環境衛生センター/公益社団法人日本ペストコントロール協会・一般社団法人福岡県ペストコントロール協会 日立造船株式会社 公益社団法人福岡県産業資源循環協会/福岡県保健医療介護総務課ワンヘルス総合推進室/公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター/株式会社プランテック/一般社団法人ふるしき研究会

## 無料! 相談会

当センター職員による、自治体対象の無料相談会を実施します。廃棄物処理施設建設等に係るお悩みをお寄せください。事前申し込み制としますが、当日の飛び入り参加も受け付けます。

## ホームページのご案内

本大会への参加、抄録集のダウンロードには、ホームページより事前のお申し込みが必要となります。URL等よりご確認ください。



<https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>

## 協賛団体 (五十音順)

株式会社エネルギージャーナル社/  
一般社団法人環境衛生施設維持管理業協会/  
株式会社環境産業新聞社/株式会社環境新聞社/  
特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会/  
一般社団法人産業環境管理協会/  
公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団/  
一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会/  
一般社団法人浄化槽システム協会/  
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会/  
全国環境衛生職員団体協議会/  
全国環境整備事業協同組合連合会/  
公益社団法人全国産業資源循環連合会/  
一般社団法人全国浄化施設保守点検連合会/  
全国浄化槽推進市町村協議会/  
一般社団法人全国浄化槽団体連合会/  
一般社団法人全国清掃事業連合会/  
公益社団法人全国都市清掃会議/  
公益社団法人大気環境学会/  
日報ビジネス株式会社/  
一般社団法人日本火葬技術管理士会/  
日本家庭用殺虫剤工業会/  
一般社団法人日本環境衛生施設工業会/  
公益財団法人日本環境協会/  
特定非営利活動法人日本環境斎苑協会/  
公益財団法人日本環境整備教育センター/  
一般社団法人日本環境保全協会/  
公益財団法人日本建築衛生管理教育センター/  
公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター/  
公益社団法人日本水道協会/株式会社日本水道新聞社/  
公益社団法人日本ペストコントロール協会/  
日本防疫殺虫剤協会/ねずみ駆除協議会/  
一般社団法人廃棄物資源循環学会/  
一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会/  
公益財団法人廃棄物・3R研究財団/  
一般社団法人プラスチック循環利用協会

会場

## 北九州国際会議場

(福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30)

交通のご案内: JR 小倉駅徒歩約10分



(一財)日本環境衛生センターは本大会を通じて、持続可能な社会形成推進のための知識の普及啓発に努めています。



# 第67回 生活と環境全国大会

## 生活環境 × 脱炭素 ～新時代への移行～



提供: 大宰府天満宮



平尾台



小倉城の夜景



小倉城

生活と環境全国大会は、環境、廃棄物・資源循環、生活衛生の分野に携わる行政、産業界、市民等の関係者が顕彰と交流を通じて環境保全の普及啓発や情報交換を行います。

【会場】北九州国際会議場

【日程】2023年10月  
18日(水)・19日(木)

【オンデマンド配信期間(予定)】  
2023年11月13日(月)～12月22日(金)

【主催】一般財団法人日本環境衛生センター  
【後援】環境省、厚生労働省、福岡県、北九州市

参加  
無料

事前登録制  
詳細・ご参加のお申し込みはHPをご覧ください

【お問い合わせ】第67回 生活と環境全国大会 事務局

一般財団法人日本環境衛生センター  
総局 管理部企画広報課

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6  
TEL 044-288-5095 FAX 044-299-2294  
<https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>



10月19日(木) @メインホール

**【大会式典】** (12:00 ~ 13:10)

環境衛生、環境保全(地球環境保全含む)、3R推進、生活環境改善事業、監視業務等に永年尽力し、功績のあった個人や団体に対し、環境大臣表彰、厚生労働省健康・生活衛生局長感謝状、生活と環境全国大会会長感謝状の授与式を行います。

**【特別講演】** (13:15 ~ 14:35)

脱炭素社会実現に向けた  
水素エネルギーの可能性

佐々木 一成 氏

九州大学副学長  
水素エネルギー国際研究センター長  
次世代燃料電池産学連携研究センター長



【プロフィール】

1965年生まれ。1993年にスイス連邦工科大学にて博士号(工学)取得後、1995年よりドイツ・マックスプランク固体研究所客員研究員を経て、1999年に九州大学大学院総合理工学研究科助教授、2011年に九州大学大学院工学研究院主幹教授を歴任し、2016年より九州大学副学長(産学連携、研究教育推進(エネルギー・脱炭素))に就任。現在は、水素エネルギー国際研究センター長、次世代燃料電池産学連携研究センター長も兼任。主に固体電解質型燃料電池の材料・プロセス研究に従事し、九州大学「水素プロジェクト」を先導している。

循環経済への移行による  
「新たな成長」の実現

角倉 一郎 氏

環境省環境再生・資源循環局次長



【プロフィール】

東京大学法学部卒業。政策研究大学院大学博士課程修了、博士(政治・政策研究)。1991年環境庁入庁。英国 Imperial College London 客員研究員、環境省廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長、地球環境局総務課長、大臣官房総合政策課長、政策立案総括審議官等を経て、2023年7月より環境省環境再生・資源循環局次長に就任。主な著書に「ポスト京都議定書を巡る多国間交渉：規範的アイデアの衝突と調整の政治力学」(法律文化社、2015)、共著に「気候変動を巡る法政策(環境法研究別冊2)」(信山社、2023)がある。

10月19日(木) @イベントホール

環境保全公開講座(10:00 ~ 11:30)

「脱炭素社会への挑戦、先進的な自治体の取り組み」

環境保全公開講座では昨年度に引き続き脱炭素をテーマに、脱炭素の実現に向けた国の支援メニューや自治体の取り組み事例をご紹介します。

今回は脱炭素先行地域の第3回募集にて重点選定モデルに設定された「複数の地方公共団体が連携した地域間連携」に着目し、地域と地域が連携した取り組みの紹介を行います。あらゆる資源を複数の地域で融通しながら、地域全体の脱炭素化を目指していく重要性はますます高まっております。本講座が地域間連携の姿を描ききつかけとなることを目指します。

- 10:00 九州・沖縄地域における地域脱炭素の実現に向けた動き 上迫 大介(環境省)
- 10:35 北九州都市圏における脱炭素先行地域の取り組み 柿木 康志(北九州市)
- 11:05 熊本連携中核都市圏共同による地球温暖化対策の推進 兼平 進一(熊本市)

10月18日(水) @メインホール

廃棄物最新処理技術セミナー(12:15 ~ 13:45)

プラントメーカーの最新処理技術発表

テーマ：資源循環・脱炭素化・低コスト化

※軽食を用意しております。(先着100名を予定)

10月19日(木)(10:00~12:45) @国際会議室

事例研究発表会  
(全国環境衛生職員団体協議会との共催行事)

自治体による環境衛生分野における最新事例の発表を行います。

併催行事

10月18日(水)

全国環境衛生・廃棄物関係課長会  
環境衛生部会/廃棄物部会/総会  
令和5年度 第37回全国火葬情報交換会

10月19日(木)

全国環境衛生職員団体協議会総会

10月18日(水) @21会議室

生活衛生公開講座(13:30 ~ 16:15)

「生活衛生および環境衛生に関する多様な取り組み」

今後さらなる注目が予想されるネイチャーポジティブ(自然再興)という新たな概念、イナゴやハチの子など古くからなじみのある昆虫食の現在とこれから、ワンヘルスに関する自治体の具体的な取り組みの紹介、昨冬猛威を振るい、社会的に大問題になった鳥インフルエンザとハエ類の関係といった多岐にわたる生活衛生分野に関する内容で各講師に紹介いただき、皆様へ最新の情報をお届けします。

- 13:30 ネイチャーポジティブ経済の実現に向けて 築島 明(環境省)
- 14:00 環境生物・住環境部の紹介、ご挨拶 橋本 知幸(一財)日本環境衛生センター)
- 14:10 日本における昆虫食の展望 西岡 ゆかり(大阪国際大学)
- 15:00 福岡県におけるワンヘルスの取り組み 藤木 重尚(福岡県)
- 15:30 出水平野における鳥インフルエンザの発生とクロバエの関係 藤田 龍介(九州大学大学院)

10月18日(水) @国際会議室

廃棄物公開講座(14:00 ~ 16:00)

「脱炭素型廃棄物処理システムの最前線」

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、その具体的な道筋を示すための中長期シナリオ(案)が、中央環境審議会循環型社会部会において示されており、廃棄物処理を担う自治体や事業者等においても積極的な取り組みが期待されています。

これらを踏まえ、本講座では、脱炭素社会の実現に向けた国の取り組みや先進的な取り組み事例についてご講演いただき、取り組み状況や課題、今後の展望について情報共有を行い、カーボンニュートラルの達成に向けた廃棄物処理システムの検討にご活用いただく機会とします。

- 14:05 廃棄物・資源循環分野における脱炭素社会の実現に向けた国の取り組み 高橋 亮介(環境省)
- 14:25 北九州市におけるエコタウン事業、廃棄物発電の取り組みについて 正野 謙一(北九州市)
- 14:30 鹿児島市のバイオガス施設を利用したエネルギーの地産地消の取り組み 柳田 博宣(鹿児島市)
- 14:55 廃棄物焼却CO2の資源化への取り組み 小間 聡(積水化学工業株式会社)
- 15:15 EVごみ収集車の導入に向けた課題について(全国市区町村へのアンケート調査結果より) 栗村 政明(一財)日本環境衛生センター)